

市町村指定文化財取材票 《表》

取材日	2024年	2月	22日	(記入者) 本井良明	
取材参加者	石井	井本	小倉	宮本	本井
取材対象先	奈良市：称念寺の本堂				

所在地	奈良市東木辻町49				
所有者(取材 対応者)名	称念寺 ***住職 (個人情報守秘)		連絡先 0742-22-4282		
	PCアドレス				
取材申込	申込先・行政名など： 称念寺 ***住職				
市町村 指定文化財	彫刻	彫名称(指定年月日)			
	建造物 1 棟	称念寺本堂 1992(平成4)年3月4日指定			
文化財指定理由	小屋組を含めて当初部材が良く保存されている。奈良町における江戸時代初期の浄土宗本堂の好例で、建立年代・大工名が明らかなものとして貴重なものであり、奈良町の伝統的な景観の形成にも大きな役割を果たしている。				

文化財の状況

	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
防火対策	火災報知器、消火器を設置。3年に一度消防署の検査を受けている。絨毯やカーテンは難燃性のものを使用。本堂で、蠟燭を灯した時は、最後に火が消えているかを常に確認している。	住職は、1956(昭和31)年に近所で大火事があったことから防火については常に意識するようにしていると話されていて、防火意識は高いものがあると感じた。
獣害対策	被害の有無、対策など 獣害は特にはない。(猫が庫裏の軒下に居ついているが、特に対応していない。)	猫は保護の観点もあって様子を見ていると話されたことに好感がもてた。
保存～継承 へ 苦労と 今後の課題 と対策	本堂は、大正時代に利便性の観点から側柱が切断されたり、南側の広縁を広げてバランスが悪くなったり、屋根の雨漏りがあったが、1992(平成4)年に市の指定文化財になったことから、1993(平成5)年から市の補助を受けて屋根の葺き替えや本堂内部の大修理を行い、それらを全て直して1997(平成9)年に元の姿に復原した。また、工事中に阪神大震災が発生したことで耐震工事も併せて行った。檀家数は250戸程度で徐々に減ってきているが、住職の後継は息子が引き継ぐことになっており、今のところ、特に大きな問題はないと話されていた。	

取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題(修復、維持、管理、環境など)

本堂は、復原資料も残っていたことから、当初の部材を利用して工事を元々の姿に復原された。また、耐震工事も行われており、今後も江戸時代の貴重な建造物として守られていく建造物であると思った。また、住職から、1956(昭和31)年に隣の瓦堂町で発生した大火災により亡くなられた方の棺が称念寺の境内に並べられ、称念寺で慰霊祭を行ったお話を聞いた。その位牌は現在も本堂の脇陣の一面に「焼死者諸霊位」としてお祀りし供養されていることに感銘を受けた。

市町村指定文化財取材票《裏》

取材日	2024年	2月	22日	(記入者) 本井良明	
取材参加者	石井	井本	小倉	宮本	本井
取材対象先	奈良市：称念寺の本堂				

【写真撮影許可済】

文化財指定名 称念寺本堂

<p>本堂</p>	<p>本堂上部</p>
	
<p>本堂内部</p>	<p>本堂前方の芭蕉の句碑</p>
 <p>手前を外陣、奥中央を内陣、内陣両脇を脇陣とする浄土宗本堂の典型的な形式をとる</p>	 <p>「菊の香や奈良には古き 仏たち」の芭蕉の句碑</p>
<p>文化財の由緒などを記入</p>	<p>所有社寺や地域（廃寺等）の歴史や特徴を記入</p>
<p>称念寺は、往古は法相宗で元興寺の築地之内（つじのうち）にあった草庵が始まりと伝わる。1167(仁安2)年に入宋した俊乗坊重源上人が、翌年宋より帰朝してこの寺を再建したという。1573(天正元)年に広瀬郡細井戸村浄土寺の頓誉上人が入寺して阿弥陀如来をまつり浄土信仰の寺とした。本堂の建立年代は、棟木の「寛永6年」=1629年の墨書によって明らかである。また、棟木銘には「大工藤原朝臣宗次喜兵衛…」とあり、建立に携った人物も明らかである。本堂内陣には宮殿厨子内に本尊阿弥陀如来と観音・勢至両脇侍の三尊像をまつる。脇陣に善導大師立像と法然上人坐像を安置する。</p>	<p>本堂は1974(昭和49)年に修理され、その際に寛永年間改築の棟札があった(『奈良市史』)。境内には愛染堂があって、愛染明王・厨子入歓喜天・不動明王がまつられている。本堂前の無縁塔(納骨堂)や墓地には室町時代の碑がいくつかあり、無縁塔頂上にある板碑形六字(南無阿弥陀仏)名号碑は1614(慶長19)年10月に造立されたもので二世誠誉上人の名がある。また、1694(元禄7)年9月9日に、伊賀から大阪に向かう松尾芭蕉が当寺を訪れ、「菊の香や奈良にはふるき仏たち」の句を詠んだ(芭蕉は翌月に大阪で亡くなる)。本堂前方には、1793(寛政5)年の芭蕉百回忌に建立された芭蕉の句碑がある。</p>